



公益財団法人 二又教育文化振興奨学会 presents

特別協賛 久留米運送株式会社

コンセール・エクラタン福岡 鳥栖公演

～フッペル鳥栖ピアノコンクール2024

フッペル部門優勝者及びジュニア部門優秀者を迎えて～



ピアノ
森永 冬香 (神奈川県)



指揮
橋 直貴

指揮者プレート

『マエストロ橋によるプレート』

13:40～大ホール



ピアノ
松林 真凜 (福岡県)

演奏曲目

メンデルスゾーン / 序曲「美しいメルジーネの物語」 作品32

シューマン / ピアノ協奏曲 イ短調 作品54より第一楽章 (ピアノ: 松林 真凜)

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 作品37 (ピアノ: 森永 冬香)

2025年

11月8日(土)

開演 14:00 (13:30 開場)

鳥栖市民文化会館 大ホール

(佐賀県鳥栖市宿町 807-17)

全自由席

※3歳以下入場不可

・託児サービスあり

(生後3か月から3歳まで。10月30日木までにお申し込みください。)

・車椅子席あり

(10月30日木までにお申し込みください。)



お問い合わせ 鳥栖市民文化会館 Tel.0942-85-3645 (9時～17時 火曜日休館)

主催 鳥栖市、鳥栖市教育委員会、フッペル鳥栖ピアノコンクール実行委員会

協賛 株式会社旭日緑化建設、古賀設備工事株式会社、株式会社シグマ鳥栖営業所、株式会社伸晃建設
株式会社龍建設、鳥栖設備工業有限公司、株式会社トス・ステージサービス

後援 佐賀県、佐賀県教育委員会、福岡県、福岡県教育委員会 協力 NPO法人 Music Network すみれ会、鳥栖市文化事業協会

入場 無料

事前申し込み不要



ピアノ：森永 冬香

Fuyuka Morinaga

フッペル鳥栖ピアノコンクール 2024 フッペル部門優勝者

第46回ピティナピアノコンペティション特級銅賞。第33回宝塚ベガ音楽コンクール第1位。第30回フッペル鳥栖ピアノコンクール2024 フッペル部門第1位。第41回かながわ音楽コンクール ピアノ部門 一般の部第2位。第5回藝大ピアノコンクール 第2位。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学を卒業。在学中に宮田亮平奨学金、卒業時に同声会賞を受賞。同大学院修士課程2年に在学中。

2024、25年度宗次エンジェル基金 / 公益社団法人 日本演奏連盟 新進演奏家国内奨学生。東誠三、日比谷友妃子の両氏に師事。



ピアノ：松林 真凜

Marin Matsubayashi

フッペル鳥栖ピアノコンクール 2024 ジュニア部門優秀者

6才よりピアノをはじめる。現在、福岡女学院高校音楽科2年在学中。

第10回ドリカム・ピアノコンクールグランプリ。第22回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会5.6年生部門銀賞。第27回フッペル鳥栖ピアノコンクールジュニア部門Aコース中学生部門第1位。第16回セシリア国際音楽コンクールカルチャー部門中学生の部第1位。第33回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。第30回フッペル鳥栖ピアノコンクール2024 ジュニア部門Aコース高校生の部第1位及び、鳥栖市教育長賞。第34回日本クラシック音楽コンクール全国大会第5位。現在永野栄子、中川淳一の両氏に師事。



指揮：橘 直貴

Naotaka Tachibana

桐朋学園大学卒業後、ウィーン国立音大で湯浅勇治氏に師事。2001年ブザンソン国際指揮者コンクール・ファイナリスト及び聴衆賞受賞。2007年バルトーク国際オペラ指揮者コンクールで優勝し、ルーマニア、スロヴァキア、ブルガリアの国立歌劇場に出演。これまでに、トゥールーズ・キャピトル国立管、サンクト・ペテルブルグ・フィル、読売日本交響楽団、札幌交響楽団、仙台フィル、広島交響楽団、関西フィル他に客演。東京室内管弦楽団のプリンシパルコンダクター、またコンセル・エクラタン福岡の音楽監督として活躍。ヴィオラ・ダ・ガンバを平尾雅子氏に師事しており、古典的アプローチにも積極的に取り組んでいる。

【公式ホームページ】 <http://www.naotakatachibana.com/>

♪指揮者からのメッセージ♪ 鳥栖の皆さんならば恐らくご存知であろう映画「月光の夏」。この映画に出てくるフッペル社のピアノは、現在も大切にサンメッセ鳥栖の1階ロビーに保管、展示されています。

太平洋戦争末期、今生の別れとしてフッペルのピアノを弾いて出征して行かれた若き特攻隊員たちのエピソード。悲惨な戦争を2度と繰り返すまいと願う平和の象徴として、鳥栖のフッペルのピアノは物語と共に語り継がれます。やがて、その名を冠したピアノコンクールを鳥栖で開催しようと働きかけた地元の方々の発想、織りなす歴史の結晶としてフッペル鳥栖ピアノコンクールがあります。ここから世界に羽ばたく優秀な若いピアニストが毎年出ていること、特に昨今水準の向上著しいこのコンクールで優秀な成績をおさめたピアニストのお披露目の場として、私たち「コンセル・エクラタン福岡」が共演させていたに深い意義とありがたいご縁を感じます。たった今皆さまがお手にされて、読んで下さっているこのチラシがそのコンサートのご案内です。毎年コンサートが近づくと鳥栖に赴き、長い長い歴史の道のりに思いを馳せる度に、私には鳥栖への愛情とリスペクトが深まるのです。戦後80年という節目の今年、若手ピアニストの発掘や育成ということだけではなく、平和な世の中であるからこそ音楽ができて楽しめるということへの感謝、これらのことは多くの日本人の犠牲と努力の上に成り立っていることを思い返すよい機会ではないでしょうか？世界の平和を望むと共に、フッペル鳥栖ピアノコンクールが未来永劫続いていくことを心より願っています。

コンセル・エクラタン福岡 (CEF)

フランス語でコンセルは“音楽会”、エクラタンは“輝かしい”を意味する。2012年4月、指揮者の橘直貴と九州・福岡を拠点に活動する演奏家によって結成。バロックから現代まで幅広い時代のプログラムに取り組み、各時代に適した奏法、表現を追求することで、音楽の魅力を最大限に引き出したいというコンセプトを掲げている。公演は多岐にわたり、オリジナル楽器での古楽シリーズ、ガット弦を用いてのオーケストラ公演、プロとアマチュア奏者が共に作り上げる「一日かぎりのオーケストラ」公演、合唱団やバレエ団との共演など、独創的な活動を展開している。



【公式ホームページ】 <https://www.eclatants.com>

サンメッセ鳥栖にドイツ・フッペル社製の古いピアノを展示しています。第2次世界大戦終結間近、2人の特攻隊員が鳥栖小学校を訪れ、同校にあったこのピアノで、この世の名残にベートヴェンの「月光」を奏でたと伝えられています。この悲話にこめられた平和への祈りを次世代へ伝え、音楽による平和文化創造を願い、「フッペル鳥栖ピアノコンクール」を開催しています。

フッペル鳥栖ピアノコンクール2024 フッペル部門優勝者 森永冬香さん、ジュニア部門優秀者 松林真凜さんとコンセル・エクラタン福岡による最高の共演を、指揮者橘直貴さんの楽しいトークとともにお楽しみください。